

冬の海に御用心！

冬期をむかえ、日本海側は北西寄りの強い季節風が吹き、海上荒天となる日が多くなります。また、平成28年1月には、発達した「南岸低気圧」の接近・通過により、係留中の漁船35隻が転覆・浸水・漂流する事故が発生しています。

発達した低気圧にも要注意！

低気圧通過前

- ・ 日常的な係留索の管理
- ・ 係留索の取り増し・あて布などによる擦れ防止、排水口の清掃手入れ、船体の陸揚げ保管 など

低気圧通過中

- ・ 低気圧通過中は、身の安全を守るため、むやみに海に近づかない

低気圧通過後

- ・ 吹き返しの風にも注意

○発達した低気圧による事故の主な要因

- ・ 係留索の磨耗、切断などの係留不備
- ・ 高潮、強風などによる転覆、浸水



第二管区海上保安本部 海の安全推進室

宮城県塩釜市貞山通3-4-1

(代表) 022-363-0111

(直通) 022-365-9609

🔍 マリレよろず屋 検索

事故事例

平成30年11月、青森県小泊半島付近海上において、**バッテリーターミナルの端子ゆるみ**によりエンジンを始動できなくなり、曳航救助された事故が発生しています。

出港前にしっかり点検をしましょう!

船体、エンジン周り、燃料の量、バッテリーの状況などを点検・確認しましょう!

○エンジンの点検

- ・燃料・潤滑油・冷却水の量は十分にあるか
- ・回転計などの計器は正常な値を指しているか
- ・燃料フィルターは汚れていないか
- ・燃料タンクのドレンに水がたまっていないか
- ・冷却用海水は通常通りの量が排水されているか

チェックは
出港前に!



○バッテリーの点検

- ・電解液（バッテリー液）の量は十分にあるか
- ・始動電圧が通常より低い値を示していないか
- ・ターミナル部分が緩んでいたたり、汚れていたたりしていないか

自己救命策確保3つの基本

- 1 海の事件・事故は海上保安庁緊急通報番号**118番**へ!
- 2 ライフジャケットの常時着用!
- 3 連絡手段の確保!



マリレ情報よろず屋
～バックナンバーはこちら～

海の安全情報スマホ版サイト
(沿岸域情報提供システム)

